

# 決算概要

糸島市の平成22年度決算が9月の議会定例会で認定されましたので、一般会計を中心に決算の概要をお知らせします。

## 〈用語の説明〉

- 歳入**
- 市 税 …… 市民税、固定資産税、たばこ税などの、市が集めるお金
  - 地方交付税 …… 支出に対して収入が不足する場合に、国が一定のルールに従い配分するお金
  - 国庫支出金 …… 国から配分されるお金
  - 県支出金 …… 県から配分されるお金
  - 市 債 …… 施設を造るときなどに借りるお金
  - 繰越金 …… 前年度から持ち越したお金
  - その他 …… 国や県が市の代わりに集めた税金や、各種手数料など
- 歳出**
- 民生費 …… 福祉などに使うお金
  - 教育費 …… 学校、図書館、博物館、体育館などに使うお金
  - 総務費 …… 市役所庁舎の維持管理、選挙などに使うお金
  - 衛生費 …… ごみ処理やし尿処理、予防接種などに使うお金
  - 農林水産業費 …… 農林水産業の振興などに使うお金
  - 土木費 …… 道路や公園などを整備するお金
  - 諸支出金 …… 基金の積み立てや下水道事業に対する補助金などのお金
  - 公債費 …… 施設を造るときなどに借りたお金の返済金
  - その他 …… 商業・観光振興などに使うお金



## 特別会計の決算

特定事業の歳入・歳出を一般の歳入・歳出と区別して個別に会計処理しています。

事業名	歳入	歳出
住宅新築資金等貸付事業	4,462万円	3,326万円
救急医療事業	4億1,936万円	3億5,179万円
国民健康保険事業	120億4,957万円	116億8,749万円
老人保健医療	2,442万円	830万円
介護保険事業	60億5,583万円	60億446万円
後期高齢者医療	9億1,734万円	8億9,355万円
渡船事業	7,578万円	5,735万円
二丈福吉財産区	79万円	64万円
二丈一貴山財産区	23万円	23万円
水道事業	17億448万円	19億9,804万円
下水道事業	33億2,495万円	36億7,119万円

水道事業会計と下水道事業会計はそれぞれ、収益的収入と資本的収入の合計を歳入、収益的支出と資本的支出の合計を歳出としています。

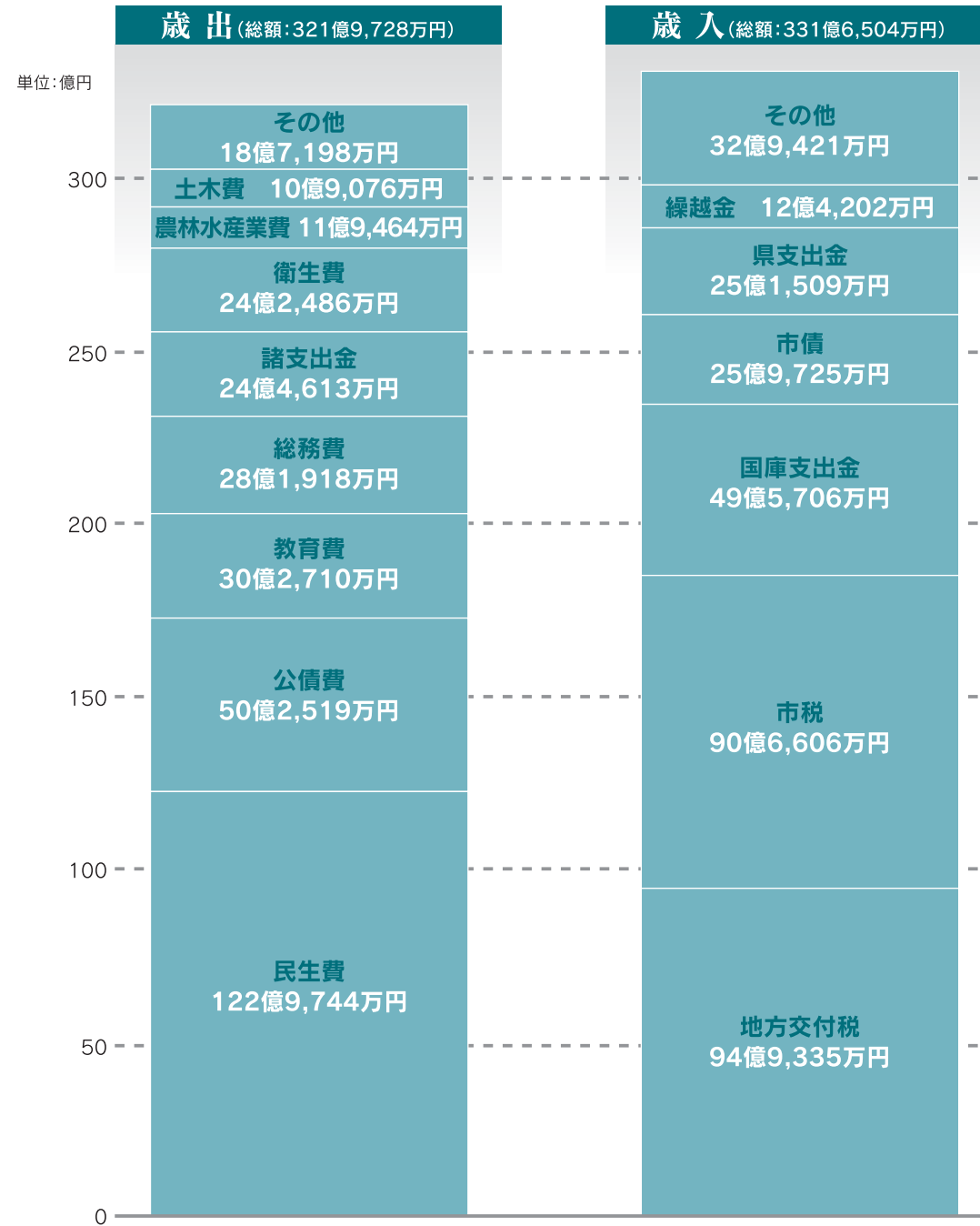
## 市債残高の状況

会計	平成22年末残高
一般会計	356億7,173万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	4,746万円
救急医療事業特別会計	1億5,170万円
水道事業会計	45億2,602万円
下水道事業会計	189億8,633万円

## 基金残高の状況

定額運用基金を除く

会計	平成22年末残高
一般会計	50億379万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	2,990万円
国民健康保険事業特別会計	2億1,285万円
介護保険事業特別会計	1億2,618万円
二丈福吉財産区特別会計	536万円
二丈一貴山財産区特別会計	303万円



## 糸島市の財政状況などを示す比率

(単位: %)

指標の種類	糸島市の比率	指標の内容	早期健全化基準 (資金不足比率では 経営健全化基準)	財政再生 基準
実質赤字率	—	福祉、教育、まちづくり等を行う一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すものです。糸島市は赤字団体ではありません。	12.39	20.0
連結実質赤字率	—	すべての会計の赤字や黒字を合算後、市全体としての赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すものです。糸島市は赤字団体ではありません。	17.39	35.0
実質公債費比率	18.3 (19.2)	借入金(地方債)の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すものです。県内の市町村の平均は11.4%で、糸島市は比較的高い状況にあるといえます。	25.0	35.0
将来負担率	104.1 (128.8)	一般会計などの借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。県内の市町村の平均は44.0%で、糸島市は比較的高い状況にあるといえます。	350.0	
資金不足率 (公営企業のみ)	—	公営企業の資金不足を、公営企業の料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。糸島市では資金不足は発生していません。	20.0	

\*糸島市の比率の( )書きは平成21年度の決算による数値です。 \*県内平均値は速報値であり、今後変更になる可能性があります。

## 財政状況を診断

市では平成22年度決算に基づき、財政状況を診断するため、その指標となる財政健全化判断比率および資金不足比率を算定しました。

糸島市は、すべての指標(左表参照)において、早期健全化基準以下となっており、健全段階にあります。

また、昨年度と比較すると数値は改善していますが、実質公債費比率および将来負担比率は県内平均より依然として高い状況にあります。これは、借入金(地方債)残高が多いことが要因です。

借入れの抑制や、繰り上げ償還の実施により残高は減少していますが、今後とも慎重な財政運営に努めます。

問 糸島市財政課  
2102 (333)

### 左表の見方

